

各 位

平成 16 年 10 月 6 日

会 社 名 株式会社 エルメ
代表者の
役職氏名 代表取締役社長 岡元 康歳
(コード番号 8206 大証 2 部)
問合せ先 経営企画室長 角田 良夫
Tel (06) 6201 - 3243 (代表)

平成 17 年 2 月期中間期業績予想の修正について

平成 17 年 2 月期中間期(平成 16 年 3 月 1 日～平成 16 年 8 月 31 日)の業績予想について、平成 16 年 4 月 9 日付当社「決算短信」および「中期経営計画」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。尚、平成 17 年 2 月期通期(平成 16 年 3 月 1 日～平成 17 年 2 月 28 日)の業績予想は、修正いたしません。

記

1. 中間期

(1) 連結中間業績予想の修正(平成 16 年 3 月 1 日～平成 16 年 8 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成 16 年 4 月 9 日発表)	3,200	90	50
今回修正予想(B)	2,998	52	40
増減額(B - A)	202	142	90
増減率(%) (B - A) / (A)	6.3%		

(2) 単体中間業績予想の修正(平成 16 年 3 月 1 日～平成 16 年 8 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成 16 年 4 月 9 日発表)	60	20	20
今回修正予想(B)	62	24	10
増減額(B - A)	2	4	10
増減率(%) (B - A) / (A)	3.3%		
* 前中間期(平成 16 年 2 月期)実績	3,150	101	23

* 前中間期は、婦人子供服販売事業の株式会社エルメ・リーテイルの会社分割前の数値が含まれております。

(3) 修正理由

当中間期の業績につきましては、主にコアビジネスであります婦人子供服販売事業の売上高および利益が予想に比べ減少したためであります。原因といたしましては、天候不順および猛暑、期初からの総額表示による低価格志向の拍車化に拠る販売単価下落、商品動向の不透明さに因る当事業のマーチャングイング力の低下にあります。尚、現段階では稀少であります但し投資業は、順調に推移いたしております。

この結果、中間期の連結売上高 2,998 百万円、連結経常損失 52 百万円、連結中間純損失 40 百万円、単体売上高 62 百万円、単体経常損失 24 百万円、単体中間純損失 10 百万円となる見込みであります。

(4) 今後の対策

当中間期の予想を踏まえまして、当社コアビジネスであります婦人子供服販売事業に関しましては、組織変更および店舗展開の多様化を含めまして、業況の回復を図ってまいります。投資業等につきましては、M & Aによる企業買収の加速化および規模の拡大を図っております。上記施策を勘案いたしまして、通期業績予想の修正を行いません。鋭意体制構築に努めてまいります。

2. 通期（ご参考）

(1) 連結通期業績予想（平成 16 年 3 月 1 日～平成 17 年 2 月 28 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (平成 16 年 4 月 9 日発表)	7,000	280	200
前期(平成 16 年 2 月期)実績	6,121	175	71

(2) 単体通期業績予想（平成 16 年 3 月 1 日～平成 17 年 2 月 28 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (平成 16 年 4 月 9 日発表)	120	40	40
前期(平成 16 年 2 月期)実績	3,237	153	74

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点において得られた情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、業況の変化等のさまざまな要因により乖離する結果となりうることをご承知おきください。

以上